

本誌第6号掲載拙稿「鈴木雨香『雨香文集』翻刻と注釈（下）」の訂正・補足

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 三浦, 一郎 メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/960

「鈴木雨香『雨香文集』翻刻と注釈（下）」の訂正・補足

三浦 一朗

『武蔵野大学日本文学研究所紀要』第6号掲載の拙稿「鈴木雨香『雨香文集』翻刻と注釈（下）」（以下、前稿）について、発表後に気づいた誤りや見落としを3点ほど訂正、補足させて頂きたい。

① まず単純な誤りとして、前稿118ページ上段9行目に「打ち案じ快を呼びて曰く」とあるのを改め、「案を打ち快を呼びて曰く」と訂正する。言うまでもなく、ここでの「案」は机の意である。

② 次に、「32 岩沼旧邑主古内廣行君墓表」本文のうち、前稿118ページ下段10行目、同16行目、同17行目などに見える「馨巖君」、同16行目の「玖巖君」（2箇所）、および118ページ下段22行目から119ページ上段1行目にかけての「大廣院殿英巖裕義居士」の表記は、それぞれ「巖」を「巖」に改め、「馨巖君」「玖巖君」「大廣院殿英巖裕義居士」とする

のが正しい。書き下し文の該当箇所についても同様である。

③ 同じ「32 岩沼旧邑主古内廣行君墓表」に付した注釈（119ページ下段7～21行目）のうち、「古内廣行君」「馨巖君」「玖巖君」について、前稿では生没年未詳としたり、あるいは生没年を記し漏らしたりしている。

しかし「古内廣行君」については、本文中に「大正三年七月四日卒。年六十四」とあるので、生没年未詳というのは明らかに誤記。粗忽をお詫びしたい。

また「馨巖君」「玖巖君」については、古内家文書のうち雨香鈴木省三（署名は「旧臣鈴木成三」）が執筆した「古内氏十三世略記 附古内氏関係古記録」に、それぞれ「明治二十八年五月二十九日御卒去御年七十八」（第十一世馨巖君）、「明治三十八年八月十四日御卒去御年六十五」（第十二世玖巖君）とあることに、前稿発表後に気づいた。これによって二人の生没年を明らかに出来る。併せて、三人についての注釈を次の通り訂

正、補足したい。

・「古内廣行君」：岩沼邑主古内氏第十三世（一八五二～一九一四）。

・「馨巖君」：岩沼邑主古内氏第十一世、廣直（二八一八～一八九五）。

・「玖巖君」：岩沼邑主古内氏第十二世、廣通（一八四一～一九〇五）。

他にもまだ自分では気づかない誤りや見落としがあることと
思う。拙稿の上・中・下を通じて、改めてご批正賜れば幸いで
ある。